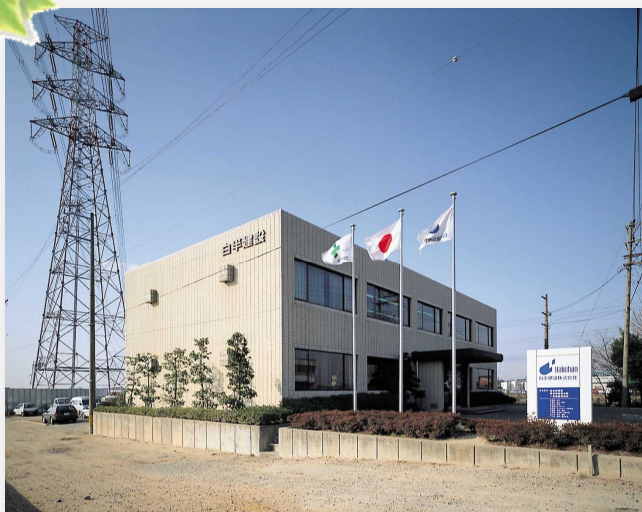


エコアクション21

～ 環境経営レポート ～



白半建設株式会社



2024年 8月 19日 作成
2025年 5月 26日 改訂
(実施期間 2023年7月～2024年6月)

目 次

1. 環境経営方針	・・・	2
2. 組織の概要	・・・	3
(1) 事業所名及び代表者氏名		
(2) 所在地		
(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先		
(4) 事業内容		
(5) 事業の規模		
(6) 事業年度		
(7) 認証・登録の対象範囲		
(8) 実施体制図		
3. 環境経営目標	・・・	5
4. 環境経営計画	・・・	6
5. 環境経営目標の実績	・・・	7
6. 環境経営計画の取組結果と評価、今後の取り組み	・・・	9
7. 環境関連法規等の取りまとめ・遵守評価結果	・・・	10
8. 代表者の全体評価と見直し結果	・・・	11

1. 環境経営方針（エコアクション21）

環境理念

当社は、建築工事の設計・施工の事業活動を行うに当たり、環境経営システムを構築・運用し、環境に対する社会ニーズを的確に捉え、自主的、積極的に、環境への取り組みを推進します。

そして「地域に密着して高い顧客満足を提供する会社」を目指します。

行動指針

1. 当社に適用される環境関連法規制や当社が約束したその他の要求事項を順守します。
2. 当社の事業活動において、具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め実施します。
 - ①省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ②分別の徹底・リサイクルを推進し、廃棄物排出量を削減します。
 - ③節水に努め総排水量を削減します。
 - ④事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑤環境に配慮した工事及び建築物の提供に努めます。
 - ⑥社会貢献活動を積極的行います。
3. 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

制定日 平成23年10月1日

白半建設株式会社

加藤 大志朗

作成日：平成 23 年 10 月 1 日

改訂日：令和 6 年 4 月 10 日

作成者：加藤大志朗

2. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

白半建設株式会社

代表取締役社長 加藤大志朗

(2) 所在地

本社：愛知県刈谷市司町 9 丁目 45 番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担連絡先

責任者：加藤大志朗 (TEL 0566-21-5121)

(4) 事業内容

特定建設業 許可番号 特 4 第 045298

(建築工事業、土木工事業、とび・土工、解体工事業)

一般建設業 許可番号 般 4 第 045298

(大工、舗装、内装仕上、造園、水道施設)

愛知県産業廃棄物収集運搬業 許可番号 02300032082

ただし、自社以外の収集運搬はしない

宅地建物取引業 許可番号 (10) 第 13714 番

一級建築士事務所 登録番号 愛知県知事い-5 6373

(5) 事業の規模

法人設立年月日：昭和 26 年 7 月 1 日

資本金：3000 万円

延べ床面積：634 m²

敷地面積：3335 m²

(6) 事業年度 7 月～6 月

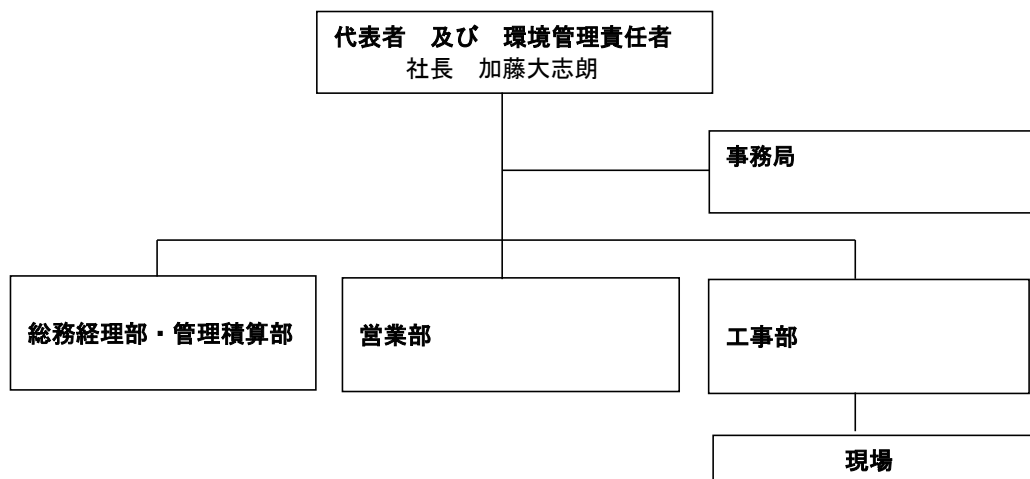
(7) 認証・登録の対象範囲：全組織・全活動

実施体制図

作成日：平成23年10月1日

改訂日：令和6年4月10日

作成者：加藤大志朗



	担当	役割・責任・権限
代表者	社長	環境管理責任者を任命する。 環境方針作成、資源（人員・設備・費用等）の準備をする。 代表者による全体の評価と見直し
環境管理 責任者	社長兼務	代表者になり、環境経営システムを構築・運用し、その 状況を代表者に報告する。外部からの苦情の受付と、必要 な対応および結果の記録 環境関連文書の素案作成など。
事務局		環境関連文書および記録の素案作成、管理など。
部門長		エコアクション21取り組みの実施。 実施状況確認をし、記録を事務局に提出する。
全従業員		環境方針の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営目標

作成日：令和5年7月31日 作成者：加藤大志朗

環境目標は事務所と現場に区分した目標とする。

項目	部署 区分	目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえ)	単位	基準年度	年度目標		
				平成22年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	46,533 (目標分)	37,362	36,809	36,435
	事業所	電力使用量の削減	kWh	28,456	32% 19,350	33% 19,066	34% 18,781
		ガソリン使用量の削減	L	5,510	14% 4,739	15% 4,684	16% 4,628
	現場	ガソリン使用量の削減	L	8,638	14% 7,429	15% 7,342	16% 7,256
廃棄物排出量	事業所	一般廃棄物の削減 (1袋=2Kg換算)	t	(平成28年度) 0.314	7% 0.292	8% 0.289	9% 0.286
	現場	産業廃棄物(事務所への 持込みゴミ)の削減	t	23	14% 19.8	15% 19.6	16% 19.3
総排水量	事業所	水使用量の削減	m ³	(平成25年度) 99	11% 88.1	12% 87.1	13% 86.1
グリーン購入	事業所	事務用品のグリーン購入	購入割合 点数	(平成23年度) 25点、30%	44% 37点	45% 38	46% 39
環境配慮建設	現場	環境配慮工事	件数	(平成23年度) 0件	年1件	年1件	年1件
社会貢献	全社	会社周辺の清掃	件/月	0	2回/年	2回/年	2回/年

化学物質に関しては、当社では直接使用しない。

事業を取巻く大きな変化が生じた場合は目標値を見直す。

灯油は使用量が少なく目標設定は行わない。

電力使用量のCO₂換算係数 中部電力 2022年度実績値(0.459kgCo₂/kwh)を使用。

4. 環境経営計画

「令和5年度」(令和5年7月1日～令和6年6月30日)

作成日: 令和5年7月31日 作成者: 加藤大志朗

	環境目標項目	取り組み内容	担当部門 (担当者)
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底 (夏場27度、冬場20度設定)	総・管
		中間期 室内適正管理	総・管
		不要電気を消す (12～2月 冷蔵庫停止)	総・管
		OA機器適正管理	管理 社長
		電気使用機器の買換え	管理 社長
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	営業 加藤
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	工事
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の削減 (両面コピー、裏紙使用)	総・管
	産業廃棄物(事務所への持込みゴミ)の削減	処分業者へ直接持込実施	工事
水総量排	水使用量の削減	節水表示、節水呼びかけ	総・管
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	事務用品のグリーン購入	総・管
環境配慮建設	環境配慮工事	環境配慮工事の施工(受注時確認) ・環境への負荷の少ない資材や工法の採用 ・騒音、振動、粉塵、排煙、排気ガス等の低減・抑制 ・泥水・汚濁水の流出の防止・土壌や地下水の汚染防止 ・交通の安全確保	営業
貢献会	会社周辺の清掃	会社周辺清掃の実施 (東・北道路、歩道橋。年2回)	全社員

5. 環境経営目標の実績

作成日: 令和6年7月15日 作成者: 加藤大志朗

項目	部署 区分	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえ)	単位	基準年度	目標	実績	増減	結果
				平成22年度	令和5年度	令和5年度	%	○×
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量削減 (①+②+③)	kg-CO2	46,533 (目標分)	37,362	13,809	37%	○
	事業所	①電力使用量の削減	kWh	28,456	32% 19,350	13,471	70%	○
		②ガソリン使用量の削減	L	5,510	14% 4,739	1,244	26%	○
	現場	③ガソリン使用量の削減	L	8,638	14% 7,429	2,043	28%	○
廃棄物排出量	事業所	一般廃棄物の削減 (1袋=2Kg換算)	t	(平成28年度) 0.314	7% 0.292	0.079	27%	○
	現場	産業廃棄物(事務所 への持込みゴミ)の削減	t	23	14% 19.8	9.3	47%	○
総排水量	事業所	水使用量の削減	m3	(平成25年度) 99	11% 88.1	58.0	66%	○
グリーン購入	事業所	事務用品の グリーン購入	購入割合 点数	(平成23年度) 25点、30%	44% 37	53% 42	5点増	○
環境配慮建設	現場	環境配慮工事 (受注時確認)	件数	(平成23年度) 0件	年1件	2件	1件増	○
社会貢献	全社	会社周辺の清掃	件/年	0	2回/年	4回実施	2件増	○

評価: ○は達成、×は未達成

事業を取巻く大きな変化が生じた場合は目標値を見直す。

電力使用量のCO2換算係数 中部電力 2022年度実績値(0.459kgCo2/kwh)を使用。

現場の電力は、工事状況によって使用量が変動するため目標管理が困難な為、目標項目としていない。

※グリーン購入 購入一覧表の内容見直しをし、満点を80点とした。

※ 廃棄物排出量(現場)「石膏ボードのリサイクル」に関するデータ収集

	リサイクル量 (単位t)	全排出量 (単位t)	リサイクル率 (単位%)	解体工事を除く、分別比率(単位%)		
				石膏A比率 @8000/m3	石膏B比率 @15000/m3	石膏C比率 @25000/m3
ファミリー阿久比棕岡改修工事	6.93	6.93	100.0%	18.0%	82.0%	0.0%
亀城小学校教室改修工事	0.63	2.10	30.0%	30.0%	0.0%	70.0%
I様邸耐震改修工事	0.60	0.60	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
共和病院すみれの丘内装改修工事	0.75	0.75	100.0%	96.0%	4.0%	0.0%

※石膏A、B=リサイクル、石膏C=埋立処分

5. 環境経営目標の実績(参考:前年比)

作成日: 令和6年7月15日 作成者: 加藤大志朗

項目	部署 区分	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえ)	単位	基準年度	前年実績	実績	増減	結果
				平成22年度	令和4年度	令和5年度	%	○×
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量削減 (①+②+③)	kg-CO2	46,533 (目標分)	15,644	13,809	88%	○
	事業所	①電力使用量の削減	kWh	28,456	13,366	13,471	101%	×
		②ガソリン使用量の削減	L	5,510	1,024	1,244	121%	×
	現場	③ガソリン使用量の削減	L	8,638	3,000	2,043	68%	○
廃棄物排出量	事業所	一般廃棄物の削減 (1袋=2Kg換算)	t	(平成28年度) 0.314	0.135	0.079	59%	○
	現場	産業廃棄物(事務所 への持込みゴミ)の削減	t	23	10.3	9.3	90%	○
総排水量	事業所	水使用量の削減	m3	(平成25年度) 99	62.0	58.0	94%	○
グリーン購入	事業所	事務用品の グリーン購入	購入割合 点数	(平成23年度) 25点、30%	50% 42	53% 42	増減なし	○
環境配慮建設	現場	環境配慮工事 (受注時確認)	件数	(平成23年度) 0件	2件	2件	2件増	○
社会貢献	全社	会社周辺の清掃	件/年	0	3回実施	4回実施	1回増	○

評価: ○は達成、×は未達成

事業を取巻く大きな変化が生じた場合は目標値を見直す。

電力使用量のCO2換算係数 中部電力 2022年度実績値(0.459kgCo2/kwh)を使用。

現場の電力は、工事状況によって使用量が変動するため目標管理が困難な為、目標項目としていない。

※グリーン購入 購入一覧表の内容見直しをし、満点を80点とした。

6. 環境経営計画の取組結果と評価、今後の取り組み

「令和5年度」(令和5年7月1日～令和6年6月30日)

作成日: 令和6年7月15日 作成者: 加藤大志朗

○: 実施、△: 一部未実施、×: 未実施

	環境目標項目	取り組み内容	担当部門 ○△×	取組結果と評価、今後の 取り組み
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底 (夏場27度、冬場20度設定)	総・管 ○	◆取組結果と評価 ◇二酸化炭素: 目標の37% 前年比88% ◇電力: 目標の70% 前年比101% ◇ガソリン: 目標の26～28% 事務所ガソリン: 前年の121% (評) 昨年より事務所ガソリン の達成率が下がっている。
		中間期 室内適正管理	総・管 ○	
		不要電気を消す (12～2月 冷蔵庫停止)	総・管 ○	
		OA機器適正管理	管理・社長 ○	
		電気使用機器の買換え	管理・社長 ○	
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	営業 ○	◆今後の取り組み: 意識啓発を継続
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	工事 ○	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の削減 (両面コピー、裏紙使用)	総・管 ○ (現状把握)	◆結果 ◇一般ゴミ 27% ◇持込みゴミ 目標の47% (評) 昨年より一般ごみの 達成率が上がっている。 ◆今後 意識啓発を継続
	産業廃棄物(事務所への 持込みゴミ)の削減	処分業者へ直接持込実施	工事 ○	
総排水量	水使用量の削減	節水表示、節水呼びかけ	総・管 ○	◆結果 目標の66%、 前年比94% (評) ◆今後 意識啓発を継続
グリーン購入	事務用品の グリーン購入	事務用品のグリーン購入	総・管 ○	◆結果 目標に対し5点増となった
環境配慮	環境配慮工事	環境配慮工事の施工	営業 ○	◆結果 2件 (評) 出来るだけ、2件を継続 したい。仮設休憩所を設けて CO2削減につなげたい。
社会貢献	会社周辺の清掃	会社周辺清掃の実施 (東・北道路、歩道橋。年2回)	全社員 ○	◆結果 昨年3回の所、4回 ◆今後も継続して行く。

7. 環境関連法規等の取りまとめ・遵守評価結果

原本作成日:平成23年10月1日 作成者 加藤大志朗

見直確認日:令和6年7月15日 加藤大志朗

評価日:令和6年 7月 15日 遵守評価

適用法令等	内 容	遵守項目	○×
産業廃棄物 処理法	産業廃棄物の適正分別と保管場所の確保		○
	産業廃棄物の適正処理	委託契約書の確認	○
	マニフェスト(管理票)交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理と5年間保存	○
	多量排出事業者処理計画の提出(6/30期限)	処理計画書の提出	○
	県知事への年度報告(6/30期限)	管理票交付状況報告書	○
愛知県廃棄物適 正処理条例	委託業者の能力確認、年度現地調査	契約産廃業者の現地確認	○
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木工事において、 分別解体・再資源化・再生資源の使用の計画 を行う(工事着手7日前まで届出)	届出書の提出	○
建築基準法	石綿・クロロピリホス含有建材の使用禁止	基準法28条の2(施行令20 条)記載のシックハウス対策 の記述基準の遵守	○
	ホルムアルデヒドに関する規制		○
騒音規制法・振動 規制法	騒音・振動発生特定施設、および特定建設作 業の届出(7日前迄届出)	届出書の提出	○
大気汚染防止法	床面積80m ² 以上、または解体等の請負金税 込100万円以上の工事の着手前に事前調査 をし、その結果を申請すること	対象工事について、有資格 者による事前調査を実施し、 その結果を届出	○
愛知県民の生活 環境保全条例	自動車のアイドリングストップの義務	社員への教育指導 アイドリングストップ表示の掲示	○
	圧縮機3.75KW以上の時、市への届出	届出書の提出	○
浄化槽法	特定行政庁へ設置届	届出書の提出	○
	保守点検基準の遵守	点検結果記録	○
	法定検査の実施	点検結果記録	○
	清掃基準の遵守	清掃結果記録	○
フロン排出抑制法	特定製品の点検義務 特定製品の修理・廃棄時の適正回収・破壊措 置義務	空調室外機の簡易点検 (点検と記録) フロン回収登録業者への委託 発注者へ書面による説明	○
建築物省エネ法	省エネ基準への適合(全ての建物)	適合性審査を受けること(一 部の対象外建物を除)	○
グリーン購入法	環境にやさしい事務用品等の購入	対象製品の購入	○
消防法	少量危険物の取扱い(ガソリン40L未満)	保管状況の確認	○
	事務所・倉庫 消防用設備等点検報告(3年毎)	報告の実施	○
家電リサイクル法	特定用家庭用機器の廃棄に当たっての責務	再商品化業者への引渡しと リサイクル料金の支払い	○

法規制の見直し、遵守評価は期末とする。

環境関連法規は「法規制についての遵守評価の記録」に取りまとめ、以下に遵守状況の確認・評価をしまし
確認評価の結果は、環境関連法規の違反はありません。なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去3年は

8. 代表者見直し記録

(記入年月日) 令和6年 7月31日	(代表者サイン) 加藤 大志朗
1. 変更の必要性	
環境方針	☐ 不要・ ☒ 要
実施体制	☐ 不要・ ☒ 要
環境目標	不要・ ☒ 要 直近1～2年の実績を基にした目標作成
活動計画	☐ 不要・ ☒ 要
2. 見直し内容	
・環境目標の達成状況：環境目標の実績 …良好である。 ・環境活動計画の実施状況：活動計画実施状況評価 …良好である。 ・環境法令等の遵守状況：法令順守評価 …特に問題なし ・環境経営システムの運用状況：PDCA評価（文書、記録）…特に問題なし <<環境管理責任者：改善の提案>> ・特になし	
3. 改善のための方策、結論、勧告等 環境管理責任者への指示事項	
① 目標は達成しているが、仕事量の減などに伴うものである。今一度、全社員に対して、更なる意識向上の為に、教育を行う。 ② 産業廃棄物・石膏ボードのリサイクルについて データー収集の継続。 （請負金5千万円以上現場の、処分の種別による集計も継続）	

9. 次期 環境経営計画

「令和6年度」(令和6年7月1日～令和7年6月30日)

作成日: 令和6年7月31日 作成者: 加藤大志朗

	環境目標項目	取り組み内容	担当部門 (担当者)
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底 (夏場27度、冬場20度設定)	総・管
		中間期 室内適正管理	総・管
		不要電気を消す (12～2月 冷蔵庫停止)	総・管
		OA機器適正管理	管理 社長
		電気使用機器の買換え エアコン室内機、室外機簡易点検(3ヵ月毎)	管理 社長
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	営業 加藤
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	工事
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー用紙の削減 (両面コピー、裏紙使用)	総・管
	産業廃棄物(事務所への持込みゴミ)の削減	処分業者へ直接持込実施	工事
水総量排	水使用量の削減	節水表示、節水呼びかけ	総・管
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	事務用品のグリーン購入	総・管
環境配慮建設	環境配慮工事	環境配慮工事の施工(受注時確認) ・環境への負荷の少ない資材や工法の採用 ・騒音、振動、粉塵、排煙、排気ガス等の低減・抑制 ・泥水・汚濁水の流出の防止・土壌や地下水の汚染防止 ・交通の安全確保	営業
貢献会	会社周辺の清掃	会社周辺清掃の実施 (東・北道路、歩道橋。年2回)	全社員

10. 次期 環境経営目標

作成日: 令和6年7月15日 作成者: 加藤大志朗

環境目標は事務所と現場に区分した目標とする。

項目	部署 区分	目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえ)	単位	基準年度	年度目標		
				令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	15,471 (目標分)	15,340	15,209	15,078
	事業所	電力使用量の削減	kWh	13,366	1% 13,232	2% 13,099	3% 12,965
		ガソリン使用量の削減	L	1,024	0% 1,024	0% 1,024	0% 1,024
	現場	ガソリン使用量の削減	L	3,000	1% 2,970	2% 2,940	3% 2,910
廃棄物排出量	事業所	一般廃棄物の削減 (1袋=2Kg換算)	t	0.135	8% 0.124	9% 0.123	10% 0.122
	現場	産業廃棄物(事務所への 持込みゴミ)の削減	t	10.3	8% 9.5	9% 9.4	10% 9.3
総排水量	事業所	水使用量の削減	m ³	62.0	3% 60.1	4% 59.5	5% 58.9
グリーン購入	事業所	事務用品のグリーン購入	購入割合 点数	42点、53%	53% 42点	54% 43	55% 44
環境配慮建設	現場	環境配慮工事	件数	2件	年2件	年2件	年2件
社会貢献	全社	会社周辺の清掃	件/月	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年

評価: ○は達成、×は未達成

事業を取巻く大きな変化が生じた場合は目標値を見直す。

電力使用量のCO₂換算係数 中部電力 2022年度実績値(0.459kgCo₂/kwh)を使用。

現場の電力は、工事状況によって使用量が変動するため目標管理が困難な為、目標項目としていない。